

WORKSHOP

アートを楽しく体験する。

モーニングライフを楽しむ

ヒノキのオリジナルバターナイフづくり

香り豊かなヒノキの木を削り、くるみオイルで仕上げるオリジナルバターナイフづくりに挑戦。木の感触を感じながらパンにバターを塗る豊かなモーニングライフにお使いください。

[日 時] 11月23日㊥ 13:30～ 所要時間 約1時間
[対 象] 小学生以上 ※小学3年生以下は保護者の方同伴
[講 師] 中川勝之(木工) [参加料] 1,000円
[定 員] 8名



楽しく粘土をコネコネ!

陶芸による可愛い動物オブジェづくり

粘土の心地良い感触を感じながら楽しくコネコネ!
自分の大好きなペットや動物を陶芸で表現。手作りのアート作品をペーパーウェイトやオブジェとしてお使いください。

[日 時] 11月24日㊥ 13:30～ 所要時間 約1時間
[対 象] 小学生以上 ※小学3年生以下は保護者の方同伴
[講 師] 羽倉 正(陶芸) [参加料] 1,000円
[定 員] 8名 ※作品のお渡しは後日となります。



WORK SHOP のお申込み

11/2(土) 午前 10:00～
☎0595-22-0511 にて受付開始。

「工芸美術」と「いけばな」の共演

作家の作った創造性あふれる花器と伊賀華道協会の「いけばな」が饗宴。
文化財施設武家屋敷赤井家住宅の和の空間を煌びやかに彩る。

[插花協力] 伊賀華道協会



展示会を観た後は、ゆつくりとカフェタイムー

Café de bunto

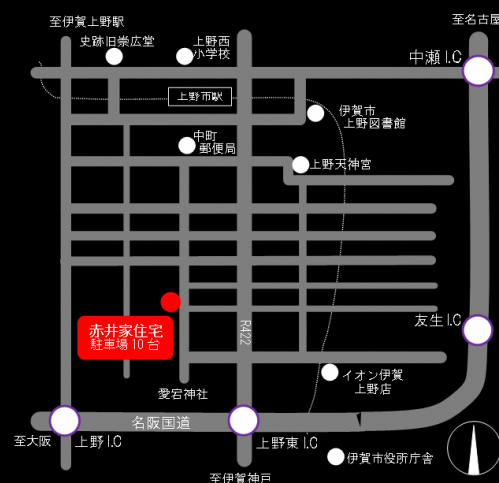
OPEN 10:00～17:00

※11/22金・23㊥の 11:30～14:00 を除く

Drink Set 500yen

お抹茶 Set 500yen

Drink のみ 300yen



2024.11.21㊤ – 11.26㊥

OPEN 9:00 - 17:00 (最終日 16:00) 入場無料

赤井家住宅 三重県伊賀市上野忍町 1491-1

※作品を販売しますが、一部の作品の引き取りは後日となります。

[主催・お問合せ] 公益財団法人伊賀市文化都市協会 ☎0595-22-0511

[共催] 南丹市工芸家協会 [協力] 伊賀華道協会

[後援] 伊賀市・南丹市・伊賀市教育委員会・南丹市教育委員会・名張市教育委員会

◆この事業は、伊賀市文化振興条例伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。



(公財)伊賀市文化都市協会

赤と黒「縁」 ―南丹市工芸家協会展×南丹市物産展―

赤井家住宅と丹波

伊賀市の赤井家住宅は、上野忍町にある武家屋敷で登録文化財にも指定されている建造物です。赤井家は戦国時代には丹波国黒井城の城主でありましたが、明智光秀に攻められ、城は落城しました。その後、赤井家の当主は京都に移り、藤堂高虎に召し抱えられたことにより、伊賀に屋敷を構え移り住んだと伝えられます。

今回、丹波地域の南丹市工芸家協会が赤井家で催しを開催することになりました。丹波との縁の深い赤井家住宅で開催することができるのは大変、ありがたいことで、これからもこうした縁を大切にしていきたいと思っています。

南丹市工芸家協会 出展作家プロフィール ― KOUGEI EXHIBITION ―



市村サントシャ 陶芸
1966年大阪生
一に素材、二に伝統、三四がなくて五に個性。
でしゃばり過ぎず、さりとしてそこには存在していて、古きを温めつつも必ず伝統を凌駕していく、自己を変容し自己を終えていく、更にその先へ更にその先へ光の方へ



熊本 一哉 陶芸
1956年 陶芸家熊本喜一の長男として京都市に生まれる。
1978年 京都市工業試験場陶器研修終了後父の元で修行
1986年 京展、日本新工芸展、日展等に出品はじめる
1995年 京展市長展
1997年 京都工芸美術作家協会展 奨励賞
京都工芸美術作家協会会員



澤田 卓伸 陶芸
1985年 京都府生まれ
2000年 父を師事し陶芸をはじめる
使いやすさを重視した形づくりと、一点一点丁寧に絵付けをしたものづくりを続けています。



染川 淳子 染織
1960年 栃木県足尾町生まれ、横浜育ち。
大学で環境科学を学んだ後、結城紬 服部工房にて、居坐機での織りを始める。
1987年 京都南丹市に移り住む。
羊や蚕を飼って糸づくりをしたり、藍や胡桃等の染料植物を育てたりすることも大切な仕事として織りを続けています。



中川 勝之 木工
1954年 南丹市八木町にて生まれる
1975年 短大卒業後 工芸家黒田乾吉氏に師事
1984年 独立 八木町自宅にて 操工房開く
日本伝統工芸近畿展 入賞 3回
2013年 日本工芸会 正会員
2024年 現在に至る



長元 宏 陶芸
焼き物の世界に入り45年程、京都市より南丹市に移住して30年になります。作品としてはシンプルな成形で、窯の焼き方と土と釉薬の種類の組み合わせで作り上げてます。使いやすいと思っていただけたら幸いです。



羽倉 正 陶芸
1968年 大阪府に生まれる
1996年 帯広畜産大学大学院修士課程修了
1998年 陶芸作家 熊本喜一先生、熊本一哉先生に師事する
2008年 独立
2018年6月15日 毎日新聞大阪版でフクロウづくりを紹介される
2020年 2022年 2023年 兵庫県川西市展出品受賞



人見 祥永 京表具
1954年 京都市南丹市八木町に生まれる
1985年 日本伝統工芸近畿展入選(以後20回入選)
1989年 日本伝統工芸展初入選(以後7回入選)
1991年 第20回日本伝統工芸近畿展 奨励賞
2020年 第67回日本伝統工芸展 NHK 会長賞
(現)日本工芸会 正会員



矢原 早苗 染織
1956年 栃木県生まれ
1978年 栃木県無形文化財、日下田正氏の内弟子となる
1995年 日本伝統工芸近畿展初入選、国民文化祭、宇都宮市長賞、足立栗田美術館個展、京都ギャラリーにしかわ個展



矢原 大二郎 染色
1957年 舞鶴市生まれ
1977年 染色家、河田孝郎氏に師事
1993年 足立栗田美術館個展
1994年 日本伝統工芸近畿展初入選
2000年 呉ばら画廊個展
2001年 日本伝統工芸展 初入選

南丹市物産展



南丹市の物産展

丹波地方の昼夜の寒暖差、肥沃な土壌、美しい水など、豊かな自然が育んだ物産が赤井家に登場。「黒大豆」「美し米(うましまい)」「ホンモロコ」など南丹市自慢の逸品をぜひお土産にどうぞ。

会 場 赤井家住宅展示室



南丹市×伊賀市の物産による

「贅沢お粥朝食」×「特製伊賀牛ハンバーグランチ」

南丹市の特産である「美し米(うましまい)」を使ったお粥に「伊賀牛しぐれ煮」をトッピング。おかずには「黒大豆の煮豆」、「ホンモロコの甘露煮」、「京漬物の盛合わせ」などの贅沢お粥朝食と、伊賀牛ハンバーグをメインにした特製ランチを限定で提供します。南丹市と伊賀市の物産によるコラボ定食をぜひご賞味ください。

日 時 11月22日(金)、23日(土・祝) ■朝食の部 7:30～
11月24日(日)、25日(月) ■ランチの部 12:00～
会 場 赤井家住宅カフェスペース 料 金 朝食 800 円 ランチ 1,000 円 (税込み)
定 員 8名／各日・各回 (予約制)

[ご予約方法]
予約方法 11月2日(土)午前9時から ☎0595-22-0511 番で受付
※一回のお電話でのお申込みは、2名までとさせていただきます。
※定員に達し次第終了とさせていただきます。



贅沢お粥朝食 ※写真はイメージです。